



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和8年5月発行 嘉手納町教育委員会



感動と信頼を広げる「心打つ振る舞い」の実践へ向けて

町教育委員会では、相手の立場に立ち、自ら考えて行動できる実践力を育む「心打つ振る舞い」を教育の根幹に掲げています。学校では、相手の目を見て行う「語先後礼」の挨拶や、自らの心も磨く「無言清掃」を励行。さらに、行事の運営や地域のボランティア活動など、指示を待つのではなく、自分で判断して動く「考動（こうどう）」を大切にしています。地域の方々からいただく温かいお声かけは、子どもたちの「誰かの役に立っている」という大きな自信へと繋がります。社会に貢献できる自立した人間へと成長できるよう、ご家庭や地域の皆様も、子どもたちの主体的な挑戦への温かい応援とご協力をよろしくお願いいたします。

「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に



家庭・学校・地域で、子供たちの成長を育みましょう。 嘉手納町教育委員会

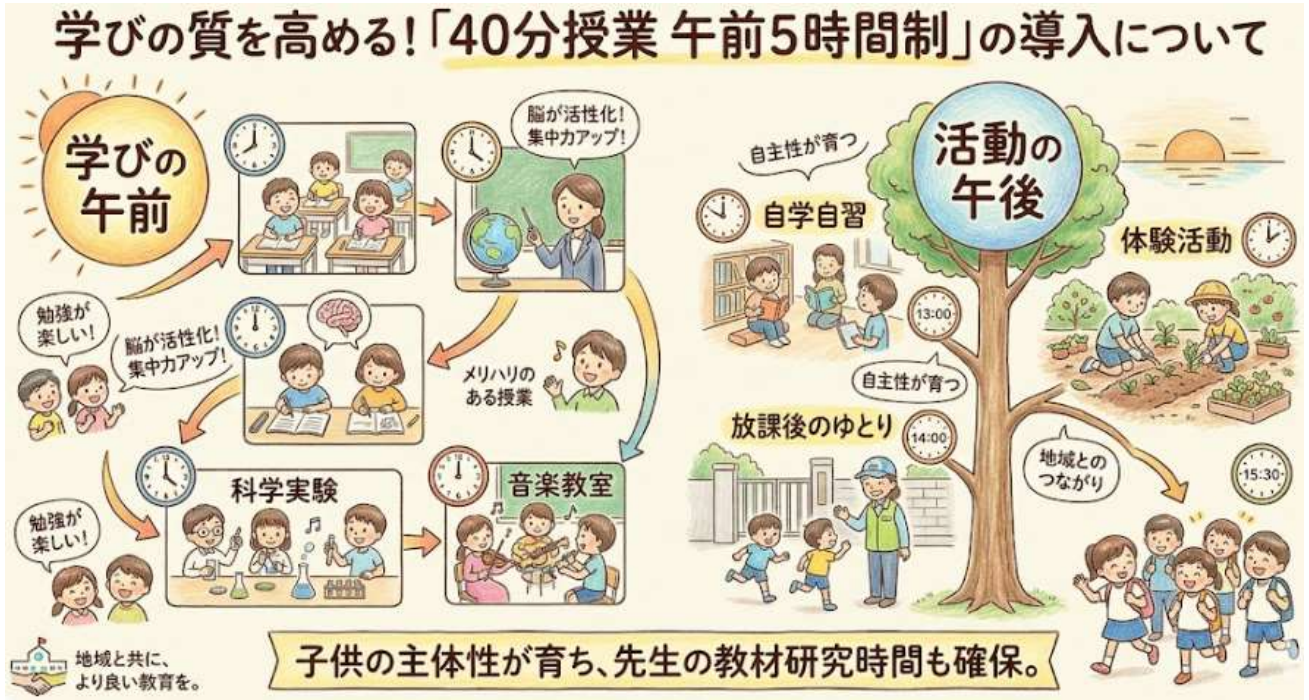
偉人の志を未来へ！まんが「野國總管ものがたり」贈呈式

「甘藷伝来」420周年を記念し、嘉手納町が制作した長編まんが『野國總管ものがたり～お芋がつないだ命の歴史～』の贈呈式が、町内の小学校で行われました。本作は「食・いのち・平和」の大切さを学ぶ教材として、毎年小学校の3・4年生へ配布されます。贈呈式で浦崎教育長は「總管さんのような勇氣、知恵、思いやりの心を持ち、ふるさとに誇りを持って成長してほしい」と子どもたちへエールを贈りました。なお、本作は本年度5月に「第45回沖縄広告協会広告賞」の雑誌広告部門で金賞を受賞し、外部からも高い評価を受けています。ご家庭でもぜひ、お子様と一緒に本町の偉人の物語を開いてみてください。



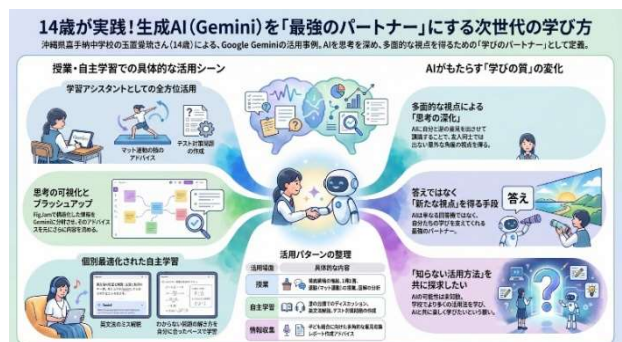
学びの質を高める！「40分授業午前5時間制」の導入について

小学校では、従来の1コマ45分の授業を40分に短縮し、脳が活性化しやすい午前中に5時間の授業を集中して行う「40分授業・午前5時間制」を導入しています。この取り組みにより、子どもたちに心地よい緊張感が生まれ、「主体的に学ぶ姿勢」が育まれるなど、さっそく嬉しい成果が出ています。また、給食後の午後の時間には、「自学自習」や体験活動といった柔軟な時間（カリキュラム）を創出。下校時間にゆとりが生まれたほか、先生方の教材研究の時間を確保することにも繋がり、授業の質がさらに向上しています。今後も地域の皆様と手を携え、より充実した教育環境づくりを進めてまいります。



全国へ発信！嘉手納中学校の最先端 AI 活用と東京での輝かしい発表

5月14日、東京ビッグサイトで開催された国内最大級の教育展示会「EDIX（エディックス）東京」のGoogleブースにて、嘉手納中学校3年生の玉置愛琉（たまき める）さんが登壇し、素晴らしい発表を行いました。文部科学省の「生成AIパイロット校」に指定されている嘉手納中学校。玉置さんは「ここまでできる嘉手納町のAI活用」と題し、社会科の授業でAI（Google Gemini）と歴史のディスカッションを重ね、確かな根拠や数値をもとに意見を述べる力を養った経験を堂々と発表しました。さらに、家庭学習でのテスト対策など、AIを「最強のパートナー」として主体的に使いこなす日頃の学びの姿を全国に発信。会場の教育関係者からは「大変すばらしい発表だった」と絶賛の声が寄せられました。本町では、これからも時代の先を見据えた最先端のICT教育を推進し、子どもたちの可能性を広げてまいります。



指導力のさらなる向上へ！嘉手納町教職員全体研修会を開催

5月8日、屋良小学校にて町内3小中学校の教職員が集まり、「嘉手納町教職員全体研修会」が開催されました。本町が進める「生成AIパイロット校事業」の一環として行われた今回は、信州大学准教授の佐藤和紀氏を講師にお招きしました。先生方は、これからの時代に求められる「情報活用能力」をベースにした授業の進め方や、生成AIをどのように教育に活かしていくかについて熱心に耳を傾けました。講話の後には、最新のAIツール「NotebookLM」等を実際に使いながら、今後の授業づくりについてグループで活発に議論を展開。町全体の教職員がこれからの実践に向けた知見を深める、大変有意義な時間となりました。



地域・家庭と歩む教育へ。沖縄県市町村教育委員会連合会総会・研修会

4月30日、浦添市にて「県市町村教育委員会連合会総会・研修会」が開催され、本町からは浦崎教育長をはじめ4名が参加しました。研修会では、学校・家庭・地域が一体となった効果的な支援の在り方を探るため、3つの分科会に分かれて熱心な議論が交わされました。具体的には、教職員の負担を軽減し教育の質を高める「学校における働き方改革」、ICTや関係機関と連携して多様な学びの場をつくる「不登校児童生徒への支援体制」、そして地域コミュニティの基盤となる「社会教育関係団体の活性化」について、県内各自治体の先進的な事例や工夫が共有されました。本町でも、今回得られた多くの成果を日々の取り組みに活かし、地域の皆様とともにより良い教育環境づくりを推進してまいります。

伝統と文化を未来へ！町文化協会総会＆受賞者合同祝賀会

5月30日、嘉手納町中央公民館にて「嘉手納町文化協会定期総会」と「令和7年度各賞受賞者合同祝賀会」が盛大に開催されました。祝賀会では華やかな幕開けの演舞や趣向を凝らした余興が披露され、会場は大いに盛り上がりました。席上、教育長から受賞者の皆様へ、日々の情熱と地域文化発展に尽くされた多大な貢献を称える祝辞が贈られました。脈々と受け継がれる伝統を紡ぎ、町の豊かな文化を育ててこられた受賞者の皆様は、嘉手納町の大きな誇りです。このたびの栄えあるご受賞、誠にありがとうございます！

【主な受賞者の皆様（敬称略）】

- 沖縄県文化協会：功労賞 田仲 末子（茶道） 奨励賞 中川 鈴子（琉球舞踊）
- 新聞社伝統芸能選考会：優秀賞 知念 美意子（古典太鼓）／新人賞 バッキングガム 咲月（箏曲）
- 嘉手納町文化協会：協会賞 渡久知 勝（歌）／福地 広美（歌）
- 琉球古典音楽野村流保存会：師範免許取得 知念 榮（三線）

思いやりの心を育む「人権教室」～人権擁護委員とともに～

嘉手納町では、法務大臣から委嘱された人権擁護委員の皆さんが、子どもたちの豊かな心を育む活動を行っています。その中心となる取り組みが、各小学校で毎年実施している「人権教室」です。2年生は『勇気のお守り』、4年生は『プレゼント』、6年生は『いじめをなくすために 今』をテーマに、発達段階に合わせて思いやりの大切さを学んでいます。また、中学校では人権作文コンテストに取り組み、昨年度は嘉手納中（当時2年）の金城咲彩さんが県の優良賞を受賞されました。



祝・見事優勝！株式会社松幸バスケットボールチーム

3月29日、第34回宜野湾市長杯一般バスケットボール大会が開催され、本町の「株式会社松幸バスケットボールチーム」が見事優勝を果たしました。後日、チームの皆さんが町長と教育長へ喜びの報告に訪れました。毎週、嘉手納中学校の体育館で熱心に練習を重ね、チーム一丸の固い絆で掴み取った最高の栄冠です。伝統ある本町の青年バスケットの意志を継ぐ同チームは、新春バスケットボール大会の開催などを通して、地元の小・中・高校生との交流や育成にも励んでいます。選手一同は「日頃から応援してくださる皆様、本当にありがとうございます！」と感謝の言葉を語ってくれました。地域のお手本として輝く先輩方の姿は、子どもたちの大きな励みとなります。皆様、今後とも熱いご声援をよろしくお願いします！



嘉手納町遺族会より寄附金が贈呈されました！

5月20日、嘉手納町役場にて、「嘉手納町遺族会」からの寄附金贈呈式が執り行われました。この寄附金は、町の未来を担う子どもたちの学びや成長を力強く支援したいという遺族会の皆様の想いから、嘉手納町人材育成会などへ贈られたものです。贈呈式では、人材育成会会長の町長から、遺族会の皆様の温かいご厚意に対して深い感謝の言葉が述べられました。いただきました貴重な浄財は、次世代を担う子どもたちの育成や、教育環境のさらなる充実のために大切に活用させていただきます。遺族会の皆様、地域の教育活動への多大なるご支援に心より御礼申し上げます。



新ヒーロー誕生！かでなっ子たちの手で名前を付けよう！

嘉手納町商工会青年部により、町の環境問題や歴史を伝える新しい「ご当地ヒーローキャラクター」が誕生します！町の魅力を発信し、子どもたちが楽しみながら学べる存在を目指すこのヒーロー。10月に開催される「野國總管まつり」での舞台デビューを予定しています。そこで、町内の保育園・幼稚園、小学生の「かでなっ子」たちから、この新ヒーローの名前を大募集します（募集・決定は6月～7月を予定）。子どもたちの自由なアイデアで、町の新ヒーローに素敵な名前をプレゼントしませんか？未来を担う子どもたちの郷土愛を育む本プロジェクトへ、保護者・地域の皆様の温かい応援をよろしく願いいたします！募集の詳細は近日中に学校や各園を通してお知らせしますので、楽しみにお待ちください！



町制 50 周年記念「NHKのど自慢」全国放送をお見逃しなく！

嘉手納町から熱気と笑顔を届ける「NHKのど自慢」の様子が、いよいよ全国放送れます。

★放送予定：令和8年6月7日（日）午後0時15分～1時（生放送）

★ゲスト：吉 幾三 屋比久 友奈 ★司会：高橋 耕造アナウンサー

